

平成27年度天王寺区 運営方針の実績・評価について

天王寺区区政会議
平成28年7月26日（火）

区の目標（何をめざすのか）

【区の将来ビジョン】

- みんなの「思い」が区政に反映されているまち
- 未来を担う人材が育成されているまち
～日本一の文教「都市」の実現～
- 「命を守る政策」がしっかりと進められているまち
- 歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち



以上の実現をめざした、平成27年度の実現状況を報告します

※[達成状況]中、太字数値は平成27年度末実績。（ ）内は平成26年度末実績。

経営課題 1 区民の声集約プロセスの強化

[戦略1-1:区民の声の区政への反映]

[達成状況]

[アウトカム](重点目標)

区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う

区民の割合:

平成29年度までに 60%以上

35.7%

(29.4%)

※全区平均30.2%

[具体的取組]

◆「区政会議」「区民モニター(区政評価員)」「あなたの声をつなげ隊」を通して、区民の声を区政に反映

【実績等】

- ・区政会議 2回
- ・区民モニター(区政評価員)調査回数 3回(1, 149人回答)
- ・あなたの声をつなげ隊による意見聴取 随時(2, 207人回答)

◆様々な広報媒体を活用した区長による情報発信

【実績等】

- ・広報紙の発行 12回
(薬局、マンション、子育てカフェ 計44ヶ所を新規配架先として開拓)
- ・ホームページ、フェイスブックによる事業紹介



**[戦略1－2: 区民に身近な総合行政の拠点、安心・安全を担う
総合拠点としての区役所づくり]**

[達成状況]

[アウトカム]

過去1年間に、区役所に日常生活に関する相談や要望を行った区民が、区役所は、区における市政の総合窓口として、適切に対応したと思うか。
に肯定的回答をした区民の割合: 平成29年度までに 80%以上

72.9%

(78.5%)

※全区平均69.4%

[具体的取組]

◆各種行政機関に対する総合窓口として機能

【実績等】

・行政連絡調整会議1回 ・日常的に緊密な連絡体制を構築

[戦略1－3: 改革を担い支える職員づくり、人材マネジメント]

[達成状況]

[アウトカム]

区役所を過去1年間に訪れた区民が、来庁者への案内サービスや窓口での対応が良いと感じたか。
に肯定的回答をした区民の割合: 平成29年度までに 80%以上

77.4%

(65.8%)

※全区平均76.5%

[具体的取組]

◆「職員づくり、人材マネジメントにかかる基本方針に沿った取組の推進」による、改革を担い支える職員づくり

【実績等】

・「天王寺区役所 職員力向上基本プラン」による職員塾開催 6回 等

経営課題1の総括

◇ 区政会議や区民モニター(区政評価員)、「あなたの声をつなげ隊」の積極的な活用により区民意見の聴取に取り組むとともに、聴取した意見を今後の事業展開や予算編成に反映させる区独自のPD“L”CAサイクル(“L”=Listen)に事業の方向性等の判断基準を導入し、「区民の声集約プロセス」の更なる強化を図りました。

◇ しかしながら、区の様々な取組に関して必要な情報が伝えられていると感じる区民の割合などのアウトカムは達成にはほど遠い状況にあるため、「”区民の声”の施策等への反映状況の”見える化”」を意識した情報発信を強化する必要があると認識しています。

(参考) 区の様々な取組に関して、あなたの必要とする情報が伝えられていると感じるか。に肯定的回答をした区民の割合：29.1%

(目標値：平成29年度までに60%以上) ※全区平均 30.8%

◇ 「地域の声を聞き取る経験」「区長との意見交換」「職員塾の開催」などを実施していますが、今後も行政職員としての”プロ意識”の徹底により、不断の市民サービスの向上及び不適切事務ゼロの実現に取り組みながら人材マネジメントを進めます。

経営課題2:「日本一の文教『都市』」をめざした 人材育成の取組と海外人材の活用

[戦略2-1:地域の未来を担う人材の育成]

[達成状況]

[アウトカム](重点目標)

ディベートスクール参加者の満足度:

平成27年度 90%

94%
(80%)

[具体的取組]

◆「社会教育機会の充実」「実践的英語教育プログラムや元プロ選手による指導機会の提供」などによる地域の未来を担う人材の育成

【実績等】

- ・中高生向けインターンシップ 14名参加
- ・ジュニアクラブ
ボランティア等の活動 年5回
年間1回以上活動に参加した会員数 59名
- ・英語によるディベートスクール 12回
- ・国際交流カフェ 6回
- ・レジェンド・イン・ハイスクール
小宮山 悟 氏(元プロ野球選手)による
区内公立校野球部への指導 10回



[戦略2－1：地域の未来を担う人材の育成]

[達成状況]

[アウトカム](重点目標)

子育てに必要な情報を必要な時に的確に得ることができていると感じる子育て世帯の割合：

平成27年度 80%

62.6%
(—)

[具体的取組]

◆子どもの将来のための投資の促進、子育て関連情報の発信や子育て層へ交流機会の提供、保育所待機児童の解消

【実績等】

- ・子育てスタート応援券の交付
764名 申請率 98%
- ・子育て情報アプリ「ぎゅっと！」の配信
ダウンロード数 1,783件(平成28年7月1日現在)
- ・子育て情報博覧会の開催
参加者 165世帯
- ・保育所の開設

保育園1ヶ所(上本町げんき学園：平成28年2月1日開園 定員90人)
※待機児童数の推移

平成26年4月 21人 ⇒ 平成27年4月 11人 ⇒ 平成28年4月 27人



経営課題2の総括

◇ 子どもの将来のための投資促進のために構築した子育てスタート応援事業については、目標とした申請率は高い水準にあると認識していますが、効果検証を行い、本事業がその後の教育投資につながるかなどを注視していく必要があります。

◇ 区役所で取り組む未来を担う人材育成に関する事業は順調に執行できていますが、希望者・申込者を対象としたものであり、区内児童・生徒全体の人材育成を効果的に進めるためには、人材育成の重要性の浸透に向けた広報を強化することが必要と考えております。

また、学校教育との連携をより一層進める必要があるため、教育行政連絡会や区教育会議で、校長・保護者等から教育に関する課題・ニーズを聴取し、優先的に対処すべきものに予算を配分していくことが必要であると認識しています。

経営課題3:お年寄り1人1人の命を守り抜く地域福祉

[戦略3-1:高齢者見守り体制の構築]

[達成状況]

[アウトカム](重点目標)

独居高齢者等の見守り体制が構築されていると感じる区民の割合:
平成27年度 80%

48%
(59%)

[具体的取組]

◆「高齢者等見守り支援事業」と「福祉現場ニーズの集約」による
高齢者見守り体制の構築

【実績等】

- ・独居高齢者等見守りサポーター事業での訪問
新規対象230世帯を調査(うち見守り希望29世帯)
また過年度の見守り希望329世帯と合わせて358世帯を訪問
- ・地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業
要支援者の同意確認を約1,500名に実施。499名が同意。



経営課題3の総括

◇ 今後も増加が見込まれる独居高齢者は、急病時、災害時の孤立化や孤独死等が懸念される一方、「要援護者見守りネットワーク強化事業」(全市実施)の展開により、希望者を対象に地域による平時の見守りを実施するなど、地域における見守り体制は着実に構築されつつあると認識しています。

◇ そのため、事業対象者の拡大に取り組むとともに、平時の見守り体制が、緊急時にも円滑に機能するよう、地域と連携しつつ個別の支援計画の策定に取り組むこと等により、高齢者等の要援護者1人1人の命を守り抜く福祉の確立をめざします。

経営課題4: より多くの人の「災害対策リテラシー」を向上する事業の追求

[戦略4-1: 減災のための取組の強化(事前の備え)]

[達成状況]

[アウトカム](いずれも重点目標)

災害時の持ち出し品の用意率: 平成27年度 世帯数の80%

37.4%

(38.7%)

家具の固定率: 平成27年度 世帯数の80%

41.5%

(39.7%)

[具体的取組]

◆「区民巻き込みオペレーションの展開」「災害対策情報の発信」「家具固定器具の取付支援」等による、減災のための取組の強化

【実績等】

- ・出前講座の実施 22回
- ・区の広報紙での特集 1回
- ・家具転倒防止器具の取付支援
73世帯(累計383世帯)
- ・地域防災計画の策定
大江、聖和、生魂の各地域で概要版を作成、各戸配付。



[戦略4-2:減災のための取組の強化(被災後の備え)]

[達成状況]

[アウトカム]

災害時避難所の場所を知っている区民の割合: 平成27年度 **90%**

84.9%
(85.4%)

[具体的取組]

◆「自宅等での被災生活の支援」「防災拠点の充実」「災害時避難行動要支援者支援体制の構築」による、減災のための取組の強化

【実績等】

- ・マンション等集合住宅への物資の備蓄 1ヶ所
- ・福祉避難所の指定 1ヶ所
- ・災害時避難所備蓄物資の追加配備 20ヶ所
- ・避難行動要支援者について支援体制を構築 6地域



[戦略4-3:こどもの安全安心の確保]

[達成状況]

[アウトカム] (重点目標)

こどもの安全が守られていると感じる区民の割合: 平成27年度 **80%**

76.0%
(79.4%)

[具体的取組]

◆「こどもが被害に遭わないための取組」によるこどもの安全安心の確保

【実績等】

- ・安全教室の実施 対象:区内全小学校の1年生
- ・区民まつりでの啓発(こどもミニ防犯教室の開催)
- ・防犯カメラの設置 30台(全小学校区で設置完了;平成25年度から累計50台)



[アウトカム]

区内鉄道駅周辺の放置自転車台数の減少:

平成27年度までに100台まで減少

187台
(152台)

[具体的取組]

◆「迷惑駐輪防止の取組」による、だれもが安全で安心して通行できる道路の確保

【実績等】

- ・「ゆめまちロード」の取組(マナー啓発とゴミ清掃など) 寺田町、桃谷の各駅 計4回
- ・放置自転車即時撤去 延べ回数:428回、延べ台数:自転車・ミニバイク 9,825台
- ・駐輪場の増設整備(天王寺駅) 約50台



経営課題4の総括

◇ 減災のための取組においては、「災害時の持ち出し品の用意率」や「家具の固定率」等のアウトカムの推移は順調でないものの、積極的な周知・啓発等「災害リテラシーの向上」に向けた取組を着実に進めており、今後は、区民1人ひとりの自助力の向上とともに、地域との連携による共助が促進、強化されるものと認識しています。

◇ 特に、区内住戸の4分の3を占める中高層マンションへの対策が課題と認識しており、マンション住民に対する働きかけを強化するなど1人でも多くの区民に“届く”啓発に取り組んでまいります。

◇ 子どものための安心・安全の確保、放置自転車対策については、子どもの犯罪被害事案の発生や放置自転車台数の増加など、ともにアウトカムの推移が順調でないことから、引き続き、各取組の改善を行い、区民の安全・安心の確保に取り組んでまいります。

(参考) 防犯カメラの設置数 平成27年度末までに区役所として累計50台を設置

放置自転車数	平成24年度	252台
	平成25年度	209台
	平成26年度	152台
	平成27年度	187台

経営課題5: 戦略的なシティ・プロモーションの推進

[戦略5-1: 天王寺のまちのブランド力の強化]

[達成状況]

[アウトカム](重点目標)

天王寺区の魅力発信・観光振興が十分にできていると感じる

区民の割合:

平成27年度 90%

63.4%

(—)

[具体的取組]

◆ 真田幸村博の開催などによる、シティ・プロモーションの機運の醸成、天王寺区のまちのブランディングの強化

【実績等】

- ・「天王寺 真田幸村博」イベントへの2年間の述べ参加者数
約68,000人
- ・真田丸顕彰碑の設置
- ・真田幸村回遊ロードサイン(真田幸村めぐルート)の整備
- ・地域独自取組プロモーション事業の推進
- ・天王寺公園を利用した
音楽のある公園事業の開催 3回
- ・天王寺区ええトコ発見
真田幸村ウォークラリーの開催



[アウトカム]

起業が推進されていると感じる区民の割合： 平成27年度 70%

21.0%

(—)

[具体的取組]

◆「起業を志す優れた人材の支援・誘致」に向けビジネスプランコンテストを実施

【実績等】

・ビジネスプランコンテスト応募数 6件

経営課題5の総括

◇ 「天王寺 真田幸村博」の開催により、天王寺区の有する豊富な歴史的・文化的資産に光を当てて、区の魅力を内外に発信することができたと考えています。

◇ 平成28年度については、シティ・プロモーションの強化を一層図るために、NHK大河ドラマ「真田丸」の放映に向けて整備を行った「真田幸村めぐルート」などにより、さらなる魅力的な情報発信に努めるとともに、地域住民・地域団体・企業等が主体的に行う取組を支援すること等により、天王寺区の魅力発信につなげてまいります。